

「2022年 上尾中央腎クリニック 施設紹介」

2022年4月改訂



1. 施設情報

当クリニックは、2007年7月にJR高崎線北上尾駅前に開設した透析クリニックです。当クリニックは3フロア、36床にて運用していますが、他院への通院、仕事の為の透析日変更等に対応する為に、4床を空けています。2022年4月現在、93名の方に月・水・金は午前・午後、火・木・土は午前の3クールにて透析を実施しています。新型コロナウイルス感染者、濃厚接触者への対応として4床をカーテン隔離、カーテン隔離したベッドに近い窓に換気扇の設置、他の患者との動線を分けて対応しています。近年、透析患者のサルコペニア(筋肉量減少)・フレイル(虚弱)が問題になっていますが、対策として腎臓リハビリ運動療法を実施し、効果をFrail CS-10にて評価しています。

2. 職員構成

医師 1名、看護師 9名、臨床工学技士 8名、臨床検査技師 1名、クラーク 5名、事務 4名、管理栄養士(非常勤) 1名

3. 業務内容

【生理検査】超音波検査(シャント、腹部、甲状腺、頸動脈)、心電図、ホルター心電図、SPP(皮膚還流圧測定)

【検体検査】月2回の定期検査(血算はクリニックにて処理、生化学検査はグループの検査センターにて処理)、緊急の生化学検査はドライにて検査実施。白癬菌検査。

【使用機器】超音波診断装置：キャノンメディカルXario200、心電計：フクダ電子：FCP-8400
SPP測定機器：カネカメディックスPAD4000、生化学分析装置：富士ドライケム7000、血算測定装置：シスメックスKX-21

【勤務時間】月・水・金 8:00~18:00、火・木 8:00~15:45、土 8:00~14:00

4. 業務取り組み

定期検査以外に「シャントチーム」、「フットケア」、チーム医療に参加しています。

1)シャントチーム：看護師、臨床工学技士と共に「シャントチーム」を形成しています。

狭窄音聴取、脱血不良、静脈圧上昇等の所見を認める時は、シャントエコーを速やかに実施しています。又、緊急製の高い所見(シャント音喪失、拍動性のシャント音聴取等)は、連絡を受け次第エコーを実施しています。

2)フットケア：透析を受けている患者の多くは、糖尿病を患っております(糖尿病性腎症)。

糖尿病の合併症として糖尿病性足病変が有り発症すると、感染、潰瘍、下肢の切断等、著しくQOLが低下します。糖尿病を患っている患者は「足白癬」に罹患し易く、「白癬菌」の検査依頼を受けた時は、爪、皮膚を採取して検査しています(「検体採取等に関する厚生労働省指定講習会」受講済)。